第721回 新潟放送番組審議会 議事録

－ 議 題 －

BSN ドキュメント 「無音のスマッシュ」

～デフバドミントンが奏でる夢～

に関しての意見交換

令和8年 10月22日

BSN新潟放送

第721回 新潟放送番組審議会

１．開催日時　　令和8年10月22日（木） 11時から

２．開催場所　　BSN新潟放送 本社6F会議室

３．委員の出席

○ 委員側出席者 (敬称略・順不同)

委員長	馬 場 省 吾	副委員長	佐 藤　元
委　員	太 田 勇 二	委　員	馬 場 幸 夫
委　員	倉 田　亮	委　員	石 坂 智 惠 美
委　員	大 橋 大 河		

○ 審議番組事前レポート提出者

委　員	三 井 田 由 香	委　員	大 橋 未 来 子

○ 放送事業者側出席者

社長	島 田 好 久
取締役	小 湊　潤 （編成業務局担当役員）
報道制作局長	吉 井 秀 之
番組説明員	坂 部 友宏（アナウンス部／取材・制作担当）
事務局長	間 瀬　学 （編成業務局長）
事務局	品 田　泰 （編成業務局テレビ編成部長）

４．議 題

1 報告事項　　・11月ネット単発番組、11月自社制作番組 (テレビ・ラジオ) について
・放送番組の種別と種別毎の放送時間について
・青少年に見てもらいたい番組について

2 審議番組　　番組名：BSN ドキュメント 「無音のスマッシュ」
～デフバドミントンが奏でる夢～
放送日時：2026年 9月19日(土) 25時28分～25時58分

５．議事の概要

島田社長の挨拶に続き、編成業務局および報道制作局の各担当者より、11月のネット単発番組、放送番組の種別や放送時間、テレビ・ラジオ自社制作番組についての報告が行われた。続いて、9月19日に放送された審議番組BSN ドキュメント 「無音のスマッシュ」～デフバドミントンが奏でる夢～ についての審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

- 多様性やインクルーシブ教育の観点から非常に考えさせられる内容だった。若者や子どもたちにもぜひ見てもらいたい。
- 主人公夫婦の前向きな姿勢や、周囲の健常者と目を合わせてコミュニケーションをとる姿が印象的だった。
- 手書きのテロップ（字幕）が良いアクセントだった。ご本人の人柄や温かさを効果的に伝えており、心情表現として非常に優れていた。
- 書体や手書きなどの違いは抑揚につながったが、それぞれがどのようなもの、意図だったのか分かりづらい点もあった。
- デフスポーツの魅力だけではなく、ろう者への理解が深まった。障害をネガティブに捉えず、前向きに共生を考えられる有意義な番組で、地方局だからこそ制作できる質の高いドキュメンタリーだと感じた。
- 土曜とは言え、深夜1時半（25時28分）という放送時間はもったいない。より幅広い層に見てもらえる時間帯での放送を検討してほしい。

- 生活の基盤、収入源や遠征費の捻出方法などの説明があるとより分かりやすかった。
- 障がいの遺伝の可能性や、国内の聴覚障害者の数など、背景となるエビデンスの提示があると視聴者の理解がさらに深まったのではないか。
- ふたりの背景がしっかりと分かった。コートの中だけでなく、日常の素顔も見られて理解が深まった。
- 考えさせられる番組で、多くの気づきを得られる番組だった。

～制作・取材担当　坂部 友宏より～

たくさんの温かいご意見や参考になるご感想をいただきありがとうございました。手書きの字幕については、手話では伝えきれない心情やご夫婦の温かい人柄を伝えるために、また編集上の手法の都合もあり、ご本人に依頼して書いていただいたものです。
今後の目標は手話でしっかり伝える、また過去の思いや今の葛藤などは手書きで差別化しました。聴こえない方への配慮で、文字数が多くなったので、アクセントを付ける意味合いもありましたがご指摘のとおり分かりづらい点もあったと反省しております。

ご夫婦の生活基盤や聴覚障がい者の数などの説明不足については、報道としての要素を持たせる上必要とも感じましたが、時間の制約や正確な数字の把握の難しさなどから今回は割愛いたしました。本日いただいた貴重なご意見を、今後の番組づくりにしっかりと活かしていきたいと思っております。

【文責：番組審議会事務局】